

										赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報	
										発行人/会長 吉岡博之	
										編集人/小野章	
										〒625-0062 舞鶴市森973番地の1	
										FAX/0773-63-9764	
										E-mail brick7388@yahoo.co.jp	
赤煉瓦倶楽部舞鶴											
会報125号 令和6年(2024年)1月15日											
「赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ										http://www.redbrick.jp/	

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

目次

1. 近代化遺産保存に係る市長表明等について	3. ガイド冥利に尽きる
2. 舞鶴市立赤れんが博物館開館30周年記念イベントのご紹介	4. エピソード
	5. 図書のご紹介

1. 市長が近代化遺産の保存に向けた取り組みをさらに一歩踏み出すと表明 吉岡博之(会長)

舞鶴市の鴨田市長は、去る10月25日の市長定例記者会見において以下のように表明しました。「1989年に初めての赤れんが倉庫群のライトアップから始まった近代化遺産の保存・活用の取り組みから2024年で35年となり、今では『赤れんがのまち舞鶴』が定着しました。また、全国近代化遺産保存活用連絡協議会(通称「全近」)の会長を舞鶴市長が務めるなど、近代化遺産保存活用の先進地として確固たる地位を築いていることなどを踏まえて、近代化遺産の保存に向けた取り組みをさらに一歩踏み出します。」

今後は、「近代化遺産は造られた歴史的背景や景観も含めて価値があるものであり、舞鶴の歩みの一場面を私たちに伝える歴史の証言者である」ことから、さらに「近代化遺産を次世代へ伝えることは歴史と文化を活かした郷土愛の醸成であり、それらを保存(現状保存・記録保存)するための指針となる近代化遺産保存計画の策定を目指します」としました。そして、今年度は近代化遺産のデータベース構築に向けた準備、近代化遺産保存計画策定に向けた審議会設置の準備(委員の選定調整、条例提案準備など)を開始することです。

当倶楽部は、結成以来30余年にわたり、赤煉瓦ジ

ャズ祭の開催をはじめとする様々なイベントを通して、赤れんが倉庫群はもとより全国で3基のみ残るといふ神崎ホフマン窯や市内唯一の旧丸山小学校木造校舎等の保存と活用を訴え続けてきました。さらに市内には数多くの近代化建造物が残っているものとみられることから、市が近代化遺産のデータベース構築や保存計画の策定に取り組むことに大いに期待しています。

さて、昨年6月、当倶楽部メンバーと市民有志が市外視察で訪問した、広島市南区汐出町所在の旧陸軍広島被服支廠倉庫施設4棟については、去る11月24日、国の文化審議会が重要文化財に指定するよう文部科学大臣に答申しました。今春にも重要文化財に指定されるとみられることは大変喜ばしいことであり、指定後の活用については、保存修理工事の後、平和学習拠点、展示、収蔵庫、講話会場、図書館、多目的ホール、物販施設、ホテル、飲食施設、宿泊、観光施設としての活用も想定できるといわれます。建物4棟のうち、国が1棟、広島県が3棟をそれぞれ所有しますが、県では1棟を広島市に無償譲渡する方向で協議が行われていると報じられており、保存活用に向けたそれぞれ関係者のご努力に敬意を表します。



旧舞鶴海軍需品庫 (年代: 明治35年3棟、大正8年1棟)



旧陸軍広島被服支廠倉庫 (広島県HP)

赤れんが博物館は1993(平成5)年11月に開館し、昨年2023年11月に30周年を迎えることから、記念事業を開催しましたのでご報告とご案内をいたします。

11月19日、舞鶴赤れんがパーク2号棟で記念シンポジウム「煉瓦とジャズと山下洋輔」を開催しました。世界的ジャズピアニストの山下洋輔さんをゲストに招き、対談や演奏で会場を盛り上げました。山下さんは、1991年から2010年にかけて行われた「舞鶴赤煉瓦ジャズ

祭」をはじめ計7回舞鶴市で公演されています。シンポジウムの前半、当倶楽部顧問の馬場英男さんとの対談で、山下さんは馬場さんの依頼を受けてジャズ祭に出演したエピソードや、煉瓦造の近代的監獄を設計した祖父・山下啓次郎(当時の司法省職員)との関りや煉瓦建築に対する思いを語りました。後半の演奏では、独特の鍵盤さばきでジャズのオリジナル曲や名曲を披露し会場の市民150人を沸かせました。



山下さんと馬場さんの対話



山下さんの熱演

現在、当館では「開館30周年記念特別展 舞鶴赤れんが物語」を開催していますので、ぜひご覧ください。

【期間】 令和5年11月3日～令和6年2月25日(日) 9時から17時
(12月29日から1月1日まで冬季休館)

【内容】 ◎ 30年の歴代企画展に関するれんがなどの資料展示
◎ 旧魚形水雷庫の様子や博物館開館前後の催しのパネル展
◎ かつて博物館で販売していた赤れんがグッズの展示

【入館料】 常設展示と共通 一般400円、学生150円(市内在住・在学の学生は無料)



特別展の様子 (本文添付の写真は赤れんが博物館提供、寄稿者は同博物館勤務)

私は20年前から観光ガイドになり、赤れんがパークを中心に案内させて頂いておりますが、楽しかったご縁ばかりです。やはり生まれついでの人と触れ合うのが好きな性格は変わりませんね。

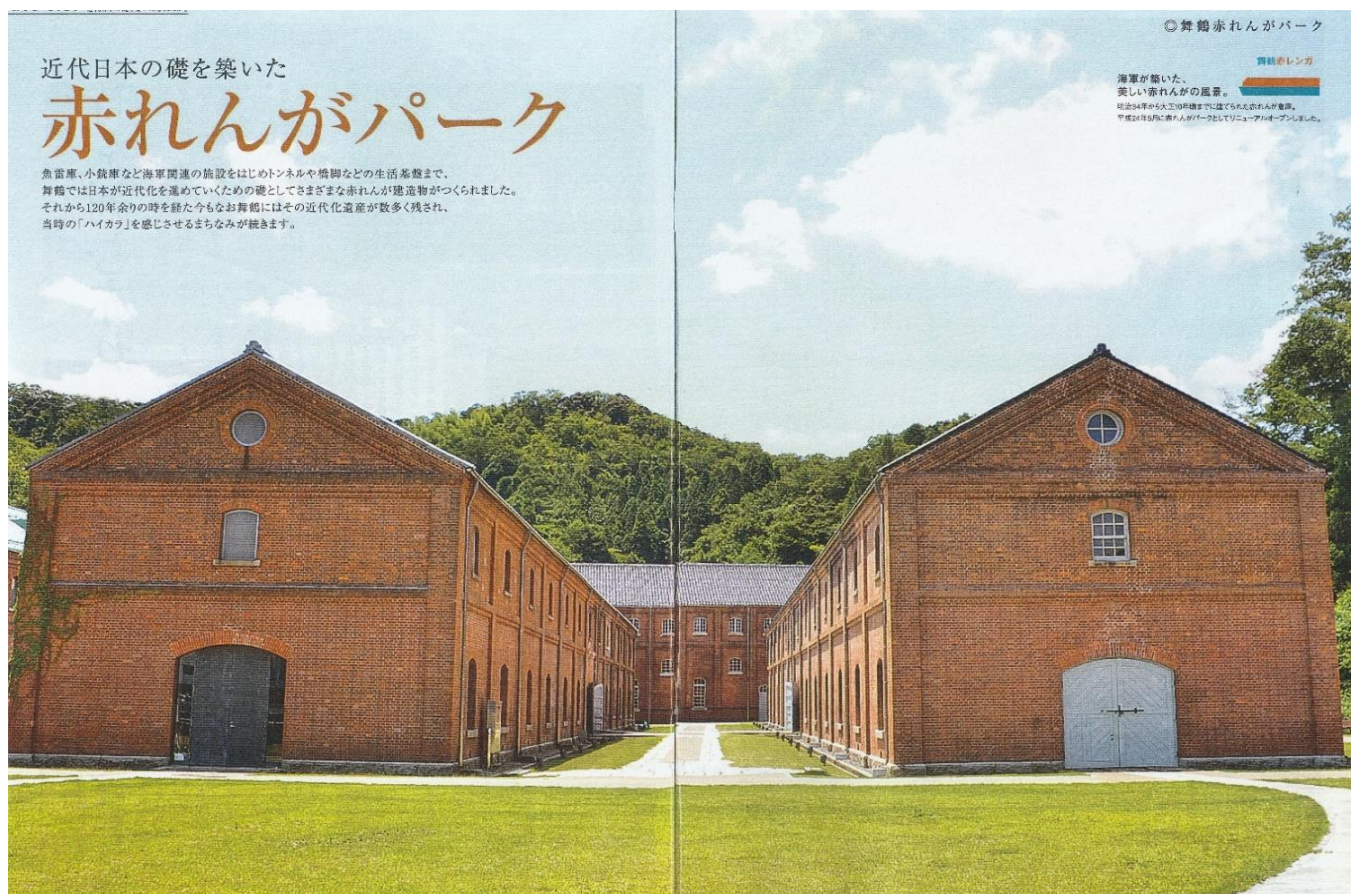
艦これ（カンコレ）では艦娘（カンムス）が仕上がる迄の下絵から販売まで珍しい物を見せて頂き、また舞鶴を紹介して下さるカメラマンとは写真集が出来る迄の春夏秋冬の一年間のお付き合いでした。テレビ番組の撮影では美しい女優さんと一緒にさせて頂きました。そんなお手伝いが出来る事もガイドならではの醍醐味でした。

さて、観光ガイドとしての要望があります。赤

れんがパークの電柱をぜひ地中化して頂きたいと願います。3号棟と4号棟の間があれ程美しいのは三方がれんがで囲まれ電柱が見えないからです。もう一つは倉庫群を緊急時の避難所にしてほしいという事です。地震やゲリラ豪雨はいつ襲ってくるか分かりません。避難の指定場所になれば市民の防災意識を高める事が出来るし安心にも繋がると思うのです。

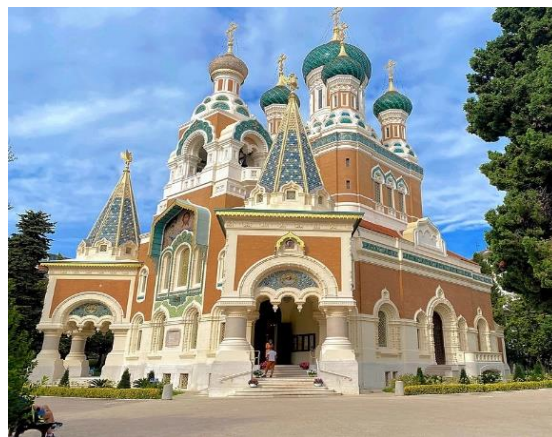
将来的には、太平洋戦争中の「東山防空指揮所」跡が内部の配置図まであるので、海軍工廠に落とされた「模擬原子爆弾」と絡めて今ある平和を語ってみたいと思います。

これからも感謝と夢をもって生きてゆきます。



古橋さんおススメの赤れんがパークの撮影アングル（舞鶴市の観光リーフより）

昔フランスの地中海沿岸の都市・ニースを歩いていて、東京のニコライ堂をも凌ぐ壮麗なロシア正教会の大聖堂に出くわしました。折よく日曜礼拝を終えて出てきた高齢者たちの会話がロシア語だったので尋ねると、彼らはロシア革命後に亡命したロシア人の末裔で、国籍はフランスとのことでした。この大聖堂は、ニースでの避寒・保養をこよなく愛したロシア帝国皇帝ニコライ2世が、現地での礼拝のために1912年に建てたもので、現在はロシア連邦の所有になります。昨今はウクライナ戦争があり、特にロシアの富裕層はこの国へ逃避してきているようですが、百年前の革命騒乱の時代から、フランスは、ロシア人の避難の地となっているのだと感じます。



写真：聖ニコラ・ロシア正教会大聖堂（ニース）（ニコラはロシア語ではニコライ）

5. 図書のご紹介 「欲望という名の音楽」二階堂尚著 草思社刊 本体 2400円

副題は「狂気と騒乱の世紀が生んだジャズ」。先般の山下洋輔氏の舞鶴来演に因みジャズ関連本を紹介します。著者の言では「二十世紀は『アメリカの世紀』であり『ジャズの世紀』であった」。この本は、ジャズの発生・流行が米国特有の裏面史と深い関係があったことを詳述しています。題名はあの戯曲「欲望という名の電車」との関連か。書名の通りアメリカの「業」ともいえる欲望の諸事象と共にジャズと関連音楽が歩んできた歴史が記されています。中でも特に、アフリカ系、ユダヤ系、イタリア系などの人々の「貢献」が分厚いものであると再認識させます。日本のジャズの背景についても詳述しています。また、F・シナトラ、美空ひばりには、特に章を設けています。本市図書館にない場合は、府内図書館の相互貸借制度をご利用下さい。



編集後記

赤れんが博物館開館 30 周年を機に「夢想」してみた。この博物館は、世界で唯一の公立の煉瓦専用博物館（英語名 World Brick Museum）とされるが、展示スペースはもとより、蒐集煉瓦、関連書籍・資料の収蔵スペースが近年かなり限られてきている。また、館は便利な公衆トイレも兼ねている。かねて博物館専用駐車場は大型バスの使い勝手が悪い上、来館者が赤れんがパーク主要棟と往来するには距離があり、特に「うらにし」の冬場や酷暑の夏場は、年配来館者の負担は大きい。そこで（あくまで仮定の話だが）将来博物館を文庫山下の旧海軍需品庫 4 棟の内 1 棟に移転できた場合、今より余裕ある収蔵・展示スペースを期待できる上に、バスの出入りもスムーズになり来館者の往来の負担も少なくて済むのではと夢想した次第である。この夢想とは別に、取り急ぎ、館専用駐車場の中央に長年鎮座し駐車障害となっている市の物置を撤去・移設していただきたい。

本会の目的（要旨）：赤煉瓦を活かしたまちづくり活動、赤煉瓦ネットワーク交流と他市のまちづくり支援など。
 会員の資格：会費納入者 年会費（個人1,000円、団体5,000円）。ご寄附も受け付けます。
 会費・寄付等 振込先：①ゆうちょ銀行 四ツ八店（ヨソヨソハチ店）普通 3679505 口座名義 アカレンガクラブマイツル
 又は ②京都市都信用金庫 舞鶴中央支店 普通 口座番号 0686767 口座名義 アカレンガクラブマイツル

この度の能登半島地震で被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興をお祈りいたします。